

## 授業評価・授業研究報告書

家政教育・藤田昌子

### 1. 授業の概要

#### (1)対象授業の科目区分など

【対象授業の科目区分】教職科目

【科目名】初等家庭科教育法

【登録学生数】81名

#### (2)目的，到達目標，関連するDP

##### 【目的】

児童の実態や児童を取り巻く生活環境の諸課題と家庭科教育の関係性を踏まえ，現代の小学校家庭科教育の意義や課題，教育内容，指導方法等を理解し，小学校家庭科における授業実践に必要な基礎的な知識と教育実践力を身につける。

##### 【授業の到達目標】

- 1)家庭科教育の意義を説明できる。
- 2)家庭科教育の動向と課題を説明できる。
- 3)小学校家庭科教育の目標と内容を説明できる。
- 4)小学校家庭科の教材研究ができる。
- 5)小学校家庭科の学習指導案が作成できる

##### 【ディプロマ・ポリシー】

- ①知識・理解：教育と教職に関する確かな知識と，得意とする分野の専門的知識を修得している。
- ②思考・判断・表現：教育現場で生じているさまざまな現代的諸課題について，専門的な知見をもとに，その対応方策を理論に基づいて総合的に考え，その過程や結果を適切に表現することができる。

### 2. 授業評価・授業研究

#### (1)学部 DP との対応

受講生 69 名から回答があり，下記のような結果であった。

##### ①知識・理解

とてもそう思う 30名 (43.5%)

ある程度そう思う 37名 (53.6%)

あまりそう思わない 2名 (2.9%)

この DP とは無関係である 0名

##### ②思考・判断・表現

とてもそう思う 17名 (24.6%)

ある程度そう思う 42名 (60.9%)

あまりそう思わない 6名 (8.7%)

この DP とは無関係である 4名 (5.8%)

本授業は，学部 DP に対し，「そう思う」＋「ある程度そう思う」とする学生が，「知識・理解」で 97.1%，「思考・判断・表現」で 85.5% となっており，学部 DP に対応した授業内容であったといえる。

#### (2) 授業時間外に費やした学習時間 (1 週間)

①この授業で出された課題や予習・復習の為  
0時間 2.9% 0.5時間 5.8% 1時間 42.0%  
1.5時間 8.7% 2時間 26.1% 3時間 10.1%  
4時間 1.4% 5時間 2.9%

②この授業で出された課題や予習・復習を行う以外の為

0時間 56.5% 0.2時間 1.4% 0.5時間 11.6%  
1時間 27.5% 2時間 1.4% 3時間 1.4%

本授業では，この授業で出された課題や予習・復習の為に 91.2%の学生が 1 時間以上の授業時間外学習を行っていた。一方，この授業で出された課題等以外では，1 時間以上の学生は 30.3%みられたが，0 時間が 56.5%と半数以上を占めており，学生が自主的な学習に取り組めるようなしなやか作りが必要である。

(3) この授業を受けて勉強になったことや身についたこと

今年度は遠隔で実施せざるをえなかったが，「指導案の書き方が受けてきた講義の中で一番理解しやすかった。他の授業でも活用しやすかった。実際の授業を使っただけの指導法の学習もわかりやすかった。」「家庭科の授業の動画を見たりできたので，子どもの反応が予測できるようになった。」「他の人からの意見や授業案を見て考えを深めることができた」など学部 DP に対応した記述が多数みられた。

### 3. 地域社会を核とした教育と研究のつながり

本授業では，愛媛県内の小学校の研究授業等で撮影した授業ビデオを活用している。上記コメントにもみられるように，小学校家庭科における学生の実践的指導力向上のために有意義なものとなっている。